

目次

1. ワークショップ開催結果

1-1 開催概要

1-2 対象地区のまちづくりの問題と方向性

1-3 駅前広場周辺の整備方針

2. 各回のワークショップの概要

2-1 第1回ワークショップ

2-2 第2回ワークショップ

2-3 第3回ワークショップ

2-4 第4回ワークショップ

1. ワークショップ開催結果

1-1 開催概要

■開催目的（まちづくり及び駅前広場周辺整備について、地区関係者の意見を反映させるため）

日程	検討内容	主な意見
10/7 第1回 参加者 37名	<<目的>> 駅前広場周辺の現況・課題について意見交換を行い、今後の方向性を整理する <<テーマ>> ①JR行田駅前広場周辺の現状をどう思いますか？ ②これからのJR行田駅前広場周辺をどうするとよいですか？ <<グループ発表>> <u>グループ毎に、現状の駅前広場周辺地区の問題点・方向性を発表</u>	●対象地区のまちづくりについて (土地利用)商業施設・飲食店、行政施設、文化施設等の整備 (景観)街路樹や緑道ネットワークの整備・保全 (道路)県道行田停車場線の一部歩道整備(市道に移管した上で整備) ●駅前広場周辺について (交通処理機能)歩行者の安全性確保、バリアフリーへの配慮 (駐輪場)利便性向上(狭い、遠い、屋根がない)※立体化も検討 (公共交通)バスの利便性、アクセス性向上、タクシーの利便性向上 (その他)休憩施設、喫煙所の確保
10/24 第2回 参加者 31名	<<目的>> 駅前広場整備における必要な機能について意見交換を行い、方針を整理する <<テーマ>> ①JR行田駅前広場周辺のコンセプトは？ ②整備や配置を検討する際に配慮すべきことは？ <<グループ発表>> <u>グループ毎に、駅前広場周辺のコンセプト及び配慮して整備していく機能を発表</u>	A班:広域的にみんなが便利！ B班:人にやさしく安全・便利な行田駅 C班:観光都市行田 D班:地域住民にとって使いやすく、来訪者の人が集まれる行田駅前広場 ●主な配慮事項についての意見 (基本的な交通処理機能)歩行空間や自家用車スペース等を優先的に整備 (付加的機能)駐輪場・駐車場の整備、EV等お年寄りに配慮 (環境空間機能)複合施設の整備(行政・商業サービス、休憩施設、公園…等)
11/14 第3回 参加者 35名	<<目的>> 事務局で作成した駅前広場案(4案)をもとに、駅前広場の配置計画を検討し、駅前広場整備イメージ(案)を作成する <<テーマ>> JR行田駅前広場周辺に必要な機能の配置を考えよう！ <<グループ発表>> <u>グループ毎に駅前広場の動線や施設配置の方向性を発表 ⇒事務局提示案のうち、2案に絞りにまれる</u>	A班:デッキ案(動線としては自家用車待機場が広ければ良い) B班:デッキ案(バス・タクシーと自家用車の動線は分離しない) C班:駅東側に車両動線を集約し、県道西側への歩行動線を確保 D班:駅東側に車両動線を集約するとともに、デッキを設置し、県道両側に歩行者動線を確保 ●環境空間機能に関する意見 多機能施設の整備…行政サービス(住民票等、コミュニティセンター、図書館等) 商業サービス(コンビニ、飲食店、居酒屋、土産屋等) 観光案内所、休憩施設、多目的広場、喫煙所等
11/28 第4回 参加者 32名	<<目的>> 事務局で作成した駅前広場周辺整備方針案(2案)について意見交換を行い、市民提案としてまとめる <<テーマ>> ①デッキ案、②片寄せ案についてご意見をお聞かせ下さい！ <<グループ発表>> <u>グループ毎に、駅前広場周辺整備方針を発表</u>	A班:デッキ案(現況駐車場用地に複合施設の整備、市有地の集約による機能の集積) B班:デッキ案(現況駐車場用地に複合施設の整備、Y字デッキによる県道歩道両側への動線確保) C班:片寄せ+デッキ案(交番を移転し、駅前広場西側に複合施設を整備) D班:片寄せ案(交番を移転し、駅前広場西側及び現況駐車場用地に複合施設を整備)

1. ワークショップ開催結果

1-2 対象地区のまちづくりの問題と方向性

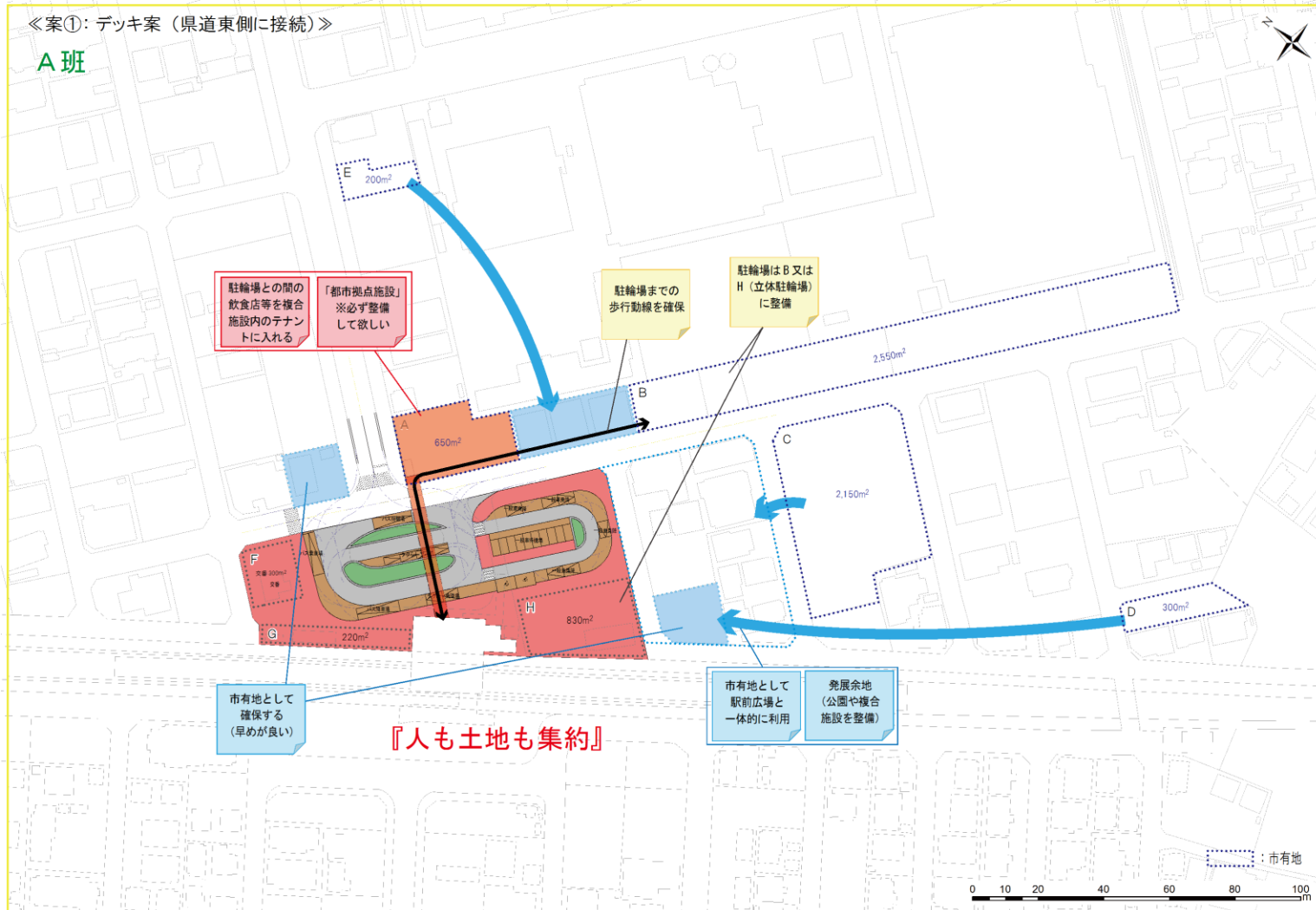
	A班	B班	C班	D班
問題点	<p><u>周辺土地利用について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅が目的地でない ・商店等の集客施設がないため、使い勝手が悪い ・駐車場が多い 	<p><u>周辺土地利用について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化施設がない ・長期間に渡り、開発されていない ・駐車場は利用者が少ない <p><u>景観について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR行田駅から水城公園まで緑道を整備してはどうか <p><u>県道行田停車場線について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道行田停車場線の歩道が一部未整備である ・街路樹が整備されているが、手入れされていない ・交差点が危険 	<p><u>周辺土地利用について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年に渡り街並みが変わらない ・清水町側の土地利用と機能分けが必要ではないか ・商業施設が少ない ・駐車場が多く、にぎわいが少ない ・ゴミが多い <p><u>防犯性について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外灯が暗い <p><u>県道行田停車場線について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道行田停車場線の歩道が一部狭い 	<p><u>周辺土地利用について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店が少ない (お酒を飲む場所が少ない) ・コンビニ等の商業施設が少ない ・駅周辺に立ち寄る施設がない
方向性	<p><u>市有地や駐車場の活用(交流の場)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅直結の複合施設 ・行政施設 ・商業施設 (コンビニより大きい方が良い) ・駅前広場横の民地と市有地を入れ替えた方が良い 	<p><u>市有地や駐車場の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が少ない駐車場を活用 ・文化施設の整備 <p><u>景観形成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての機能強化 ・緑道ネットワークを形成 <p><u>県道行田停車場線の整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の拡幅 ・市道に移管した上で整備 	<p><u>市有地や駐車場の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町(清水町等)との機能分担 ・行政施設、図書館等 ・商業施設 (コンビニ(ATM)、スーパー等) <p><u>景観形成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・植樹帯の整備、維持管理 <p><u>県道行田停車場線の整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の拡幅 	<p><u>市有地や駐車場の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設・飲食店等 ・ビジネスホテル

1. ワークショップ開催結果

1-3 駅前広場周辺の整備方針

A班: ①デッキ案(現況駐車場用地に複合施設の整備、市有地の集約による機能の集積)

- ・県道東側への歩行動線を確保するためのデッキを設置し、車両走行空間、自家用車用スペースを広く確保
- ・「広域的にみんなが便利！」な駅前広場周辺とするため、駅舎から直結の複合施設を整備し、行政サービス施設(近隣市町の支所機能を含む)や子育て支援施設、図書館、生涯学習施設等の機能を集約する
- ・市有地は出来る限り集約し、駅前広場と一体的に利用できるよう整備する

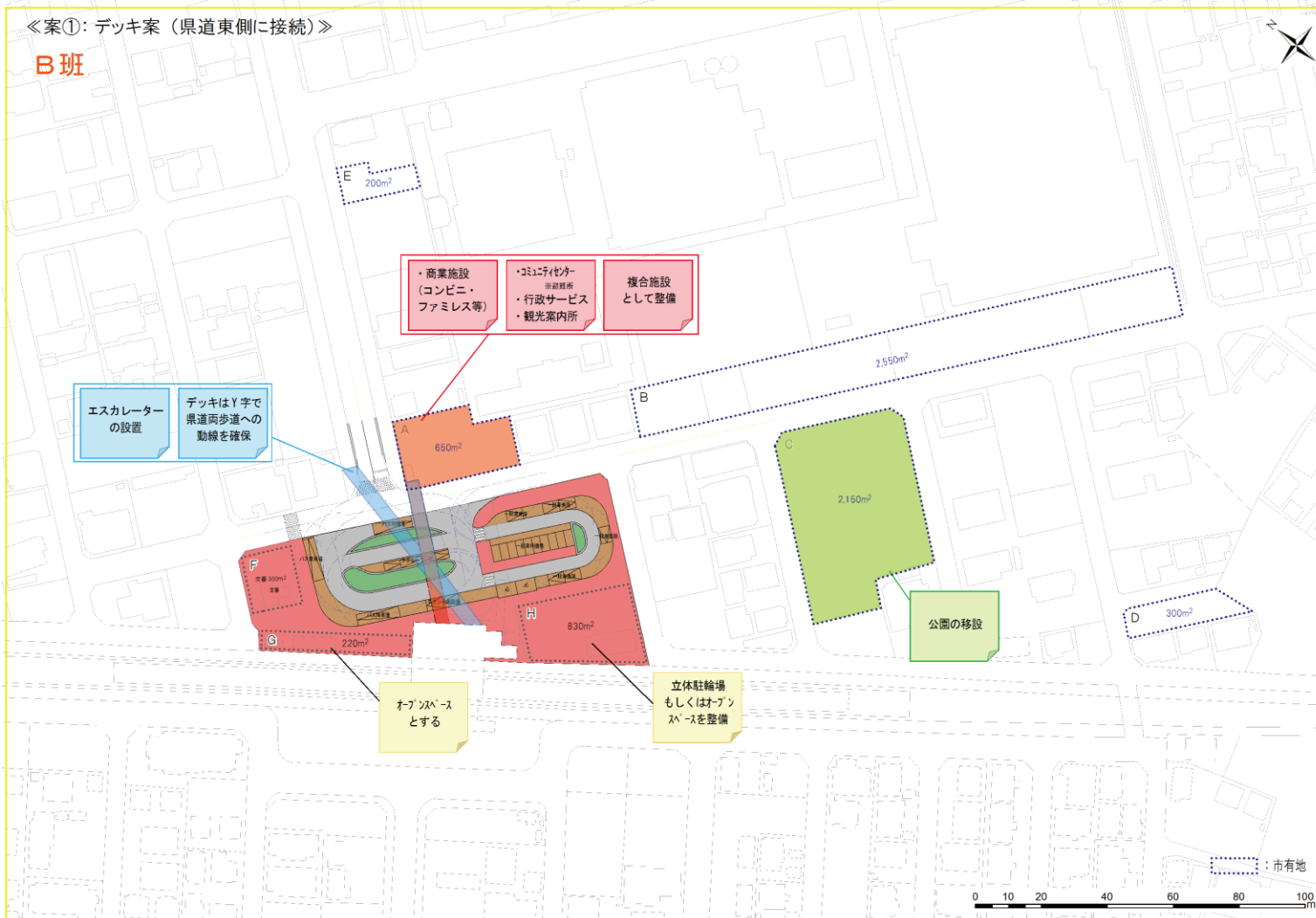


1. ワークショップ開催結果

1-3 駅前広場周辺の整備方針

B班: ①デッキ案(現況駐車場用地に複合施設の整備、Y字デッキによる県道歩道両側への動線確保)

- ・「人にやさしく安全・便利な行田駅」として、駅舎から県道の歩道両側に接続できるデッキを整備する
- ・県道東側には駅舎から直結した複合施設を整備し、商業施設(コンビニ・ファミレス等)や行政サービス施設、観光案内所を整備
- ・環境空間として、行田の歴史や文化が感じられるオープンスペースを整備する、もしくは立体駐輪場を整備し、駐輪場の利便性の向上を図る

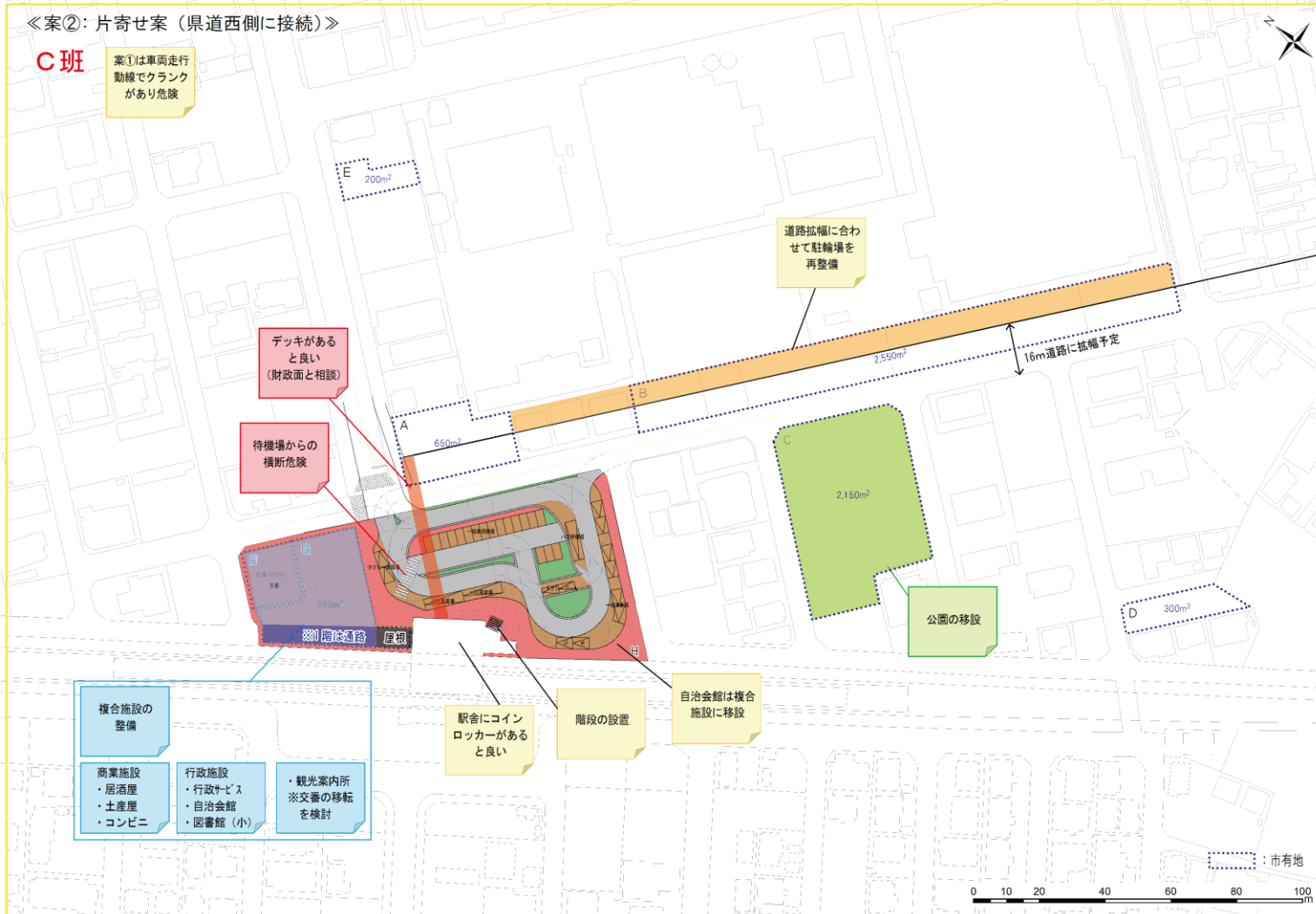


1. ワークショップ開催結果

1-3 駅前広場周辺の整備方針

C班: ②片寄せ+デッキ案(交番を移転し、駅前広場西側に複合施設を整備)※県道東側にはデッキがあると良い

- ・「観光都市行田」として、駅前広場西側の空間を利用した複合施設に観光案内所や土産屋、飲食店等を整備する
- ・駅前広場の配置では、観光客が利用しやすいよう階段側にバス・タクシー乗降場を配置し、エレベーター側に自家用車乗降場を配置した方が良い(エレベーター側にも階段が設置できると良い)
- ・利用者の多い県道東側歩道へもデッキが整備できると良い ※ただし、財政面を考慮すること

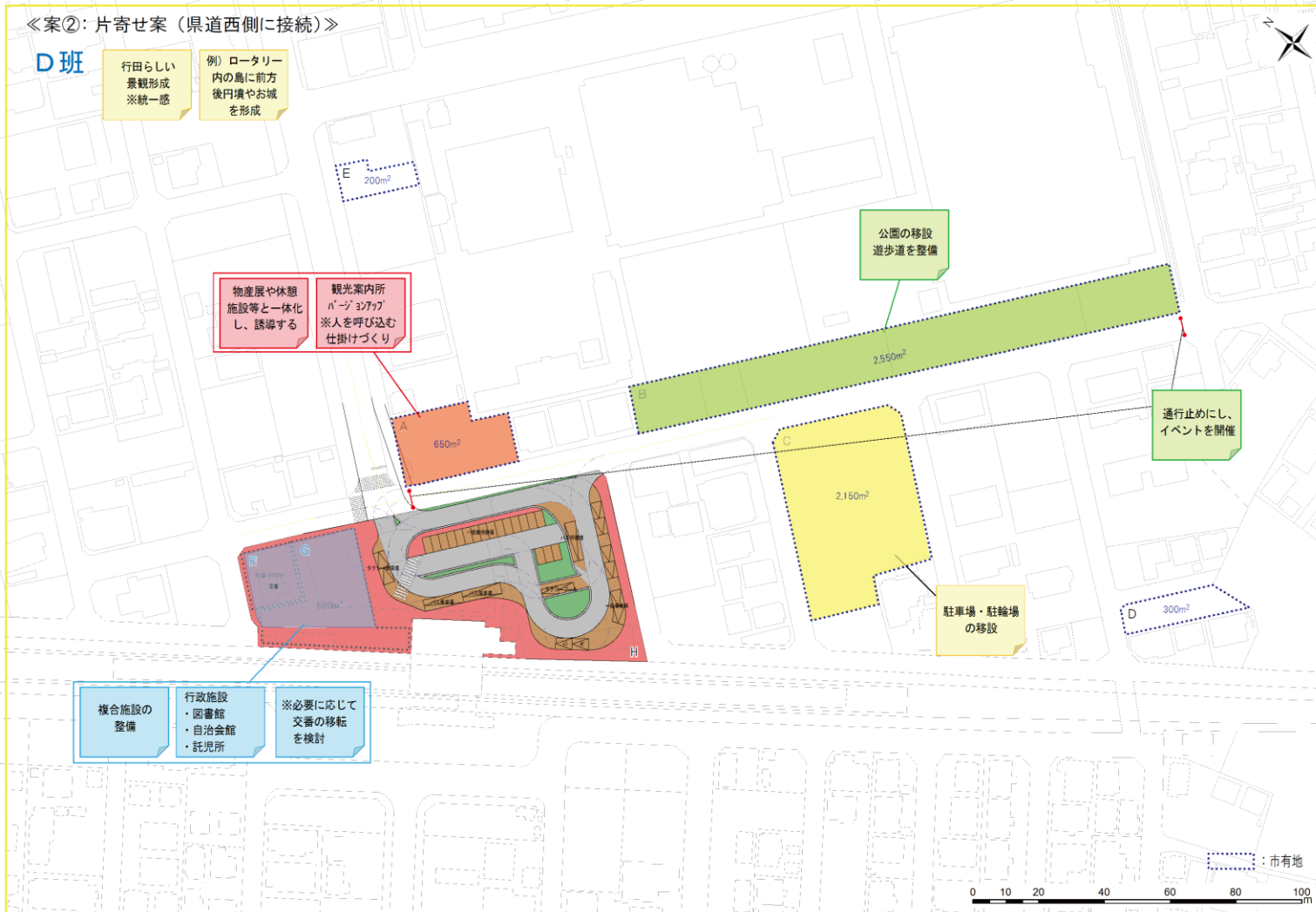


1. ワークショップ開催結果

1-3 駅前広場周辺の整備方針

D班: ②片寄せ案(交番を移転し、駅前広場西側及び現況駐車場用地に複合施設を整備)

- ・「地域住民にとって使いやすく、来訪者の人が集まれる行田駅前広場」として、駅前広場西側には図書館、自治会館、託児所等地域住民のための施設を整備し、駅前広場前の現況駐車場用地には観光案内所の整備とともに、物産館や休憩施設等を併設することで来訪者を誘導する仕組みを作る
- ・現況駐輪場を公園とし、遊歩道を整備し、イベント等を開催する



2. 各回のワークショップの概要

2-1 第1回ワークショップ

◆第1回ワークショップ（参加人数：37名）

《第1回ワークショップの目的》

駅前広場周辺の現況・課題について意見交換を行い、今後の方向性を整理する

テーマ①：JR行田駅前広場周辺の現状をどう思いますか？

テーマ②：これからのJR行田駅前広場周辺をどうするとよいでしょうか？

◆対象地区のまちづくりについて

【周辺の土地利用】

《問題点》

- ・商業施設、飲食店等がない
- ・駐車場が多く、賑わいがない
- ・長年に渡り、変化（開発）がない
- ・ゴミが多い
- ・文化施設がない

《方向性》

- ・商業施設や飲食店の整備
- ・行政施設、図書館等の文化施設などの整備
- ・市有地や駐車場などの土地を活用
- ・対象地区周辺の土地利用と機能分担

【景観について】

《問題点》

- ・街路樹の手入れが出来ていない

《方向性》

- ・街路樹の整備・保全
- ・緑道ネットワークの形成

【県道行田停車場線について】

《問題点》

- ・歩道が一部未整備
- ・交差点が危険

《方向性》

- ・歩道の拡幅
- ・市道に移管した上で整備

2. 各回のワークショップの概要

2-1 第1回ワークショップ

◆ 駅前広場周辺について

【歩行空間、車両走行空間】

《問題点》

- ・歩行者が車両走行空間に進入し危険
- ・送迎車両が多く混雑する
- ・ロータリーが狭く、自家用車が車道で待機する
- ・県道からの動線が悪い

《方向性》

- ・歩行空間と車両走行空間の分離、明確化
- ・公園の移設も視野に、駅前広場面積を拡張
- ・安全性の確保
- ・バリアフリーに配慮

【駐輪場について】

《問題点》

- ・駐輪場が狭い、遠い
- ・駐輪場に屋根がない

《方向性》

- ・駐輪場の利便性向上
- ・壱里山公園の土地を活用した立体駐輪場

【公共交通について】

《問題点》

- ・バスの運行便数が少ない、運行経路が悪い
- ・タクシーの待機車両が少ない
- ・バス乗り場まで屋根がない

《方向性》

- ・バスの利便性、アクセス性向上
- ・タクシーの利便性向上
- ・バス・タクシー乗り場までの屋根整備

【休憩施設について】

《問題点》

- ・休憩する場所がない
- ・喫煙所がない

《方向性》

- ・休憩・喫煙スペースの確保

2. 各回のワークショップの概要

2-2 第2回ワークショップ

◆第2回ワークショップ（参加人数：31名）

《第2回ワークショップの目的》

駅前広場整備における必要な機能について意見交換を行い、方針を整理する

テーマ①：JR行田駅前広場周辺のコンセプトは？

テーマ②：整備や配置を検討する際に配慮すべきことは？

◆JR行田駅前広場周辺のコンセプト

A班：広域的にみんなが便利！

…まずは駅機能（交通処理機能や行政サービス等）を強化、さらに活性化に向けて、玄関口としての機能（商業サービス、公園、休憩施設等）を強化

B班：人にやさしく安全・便利な行田駅

…駅前広場全体を公園化し、行田の歴史や文化が感じられる交流空間、安全で安らぎや利便性のある駅前広場として整備

C班：観光都市行田

…地域住民が利用しやすい駅前広場を整備するとともに、土産物屋や飲食店などの商業施設等を併設し、観光客も利用しやすい駅前広場を整備

D班：地域住民にとって使いやすく、来訪者の人が集まれる行田駅前広場

…地域の人々が求めるもの（お年寄りの利便性、雨の日の利便性等）に加え、来訪者が求めるもの（観光案内機能、商業機能、休憩機能等）を整備

2. 各回のワークショップの概要

2-2 第2回ワークショップ

◆整備や配置を検討する際に配慮すべきこと

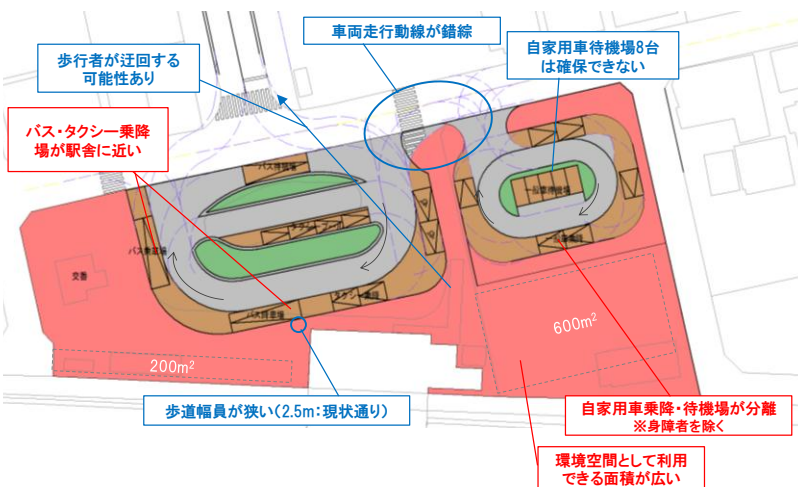
	A班	B班	C班	D班
基本的な交通処理機能	<ul style="list-style-type: none"> 交通処理機能を優先的に整備 ⇒特に重要な機能 車両走行空間、歩行空間、自家用車待機場 バスは便数増加が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性を確保した歩行空間の整備が優先 バスは路線の充実が必要 バス、タクシー乗降場は立体化も視野に検討 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間、車両走行空間の整備が優先であり、歩行空間は屋根があった方がよい バス・タクシー乗降場は駅舎に近い方がよい 観光地を結ぶようなバスルートが必要 	<ul style="list-style-type: none"> バスや自家用車乗降場、歩行空間、タクシー乗降場の整備が優先
付加的機能	<ul style="list-style-type: none"> 交通処理機能による活性化に合わせ、駐輪場を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場は優先的に整備 	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場・駐車場は現状の位置、規模でよい 	<ul style="list-style-type: none"> エレベーター等、お年寄りにも優しい機能が必要 雨の日にも利用しやすいなど、地域の人が求める機能が必要
環境空間機能	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービスを優先的に整備 ⇒支所機能 (住民票※近隣市町分を含む) 子育て支援、図書館、生涯学習施設、集会所 コミュニティスペース 行田をイメージできるモニュメントの設置 その他 ⇒商業サービス、公園 送迎者用の休憩施設 	<ul style="list-style-type: none"> 商業サービスや観光案内所は複合施設等により、出来るだけ駅近くに設置した方がよい 植樹帯は管理が大変なため、整備にあたっては管理体制を整える その他 ⇒公園、休憩施設、憩いの広場 	<ul style="list-style-type: none"> 複合施設としての整備がベスト 商業サービスや観光案内所を優先的に整備 ⇒観光案内所は暗い、向きが悪い ⇒商業サービスはお土産屋、飲食店、コンビニ等 行政サービス ⇒住民票、印鑑証明等 	<ul style="list-style-type: none"> 商業サービスや観光案内所を優先的に整備 ⇒商業サービスはお土産屋、飲食店、宿泊ホテル等 防犯に配慮し、照明等を整備 公園ではフリマやB級グルメ等のイベントを開催 その他 ⇒休憩施設、モニュメント、喫煙所

2. 各回のワークショップの概要

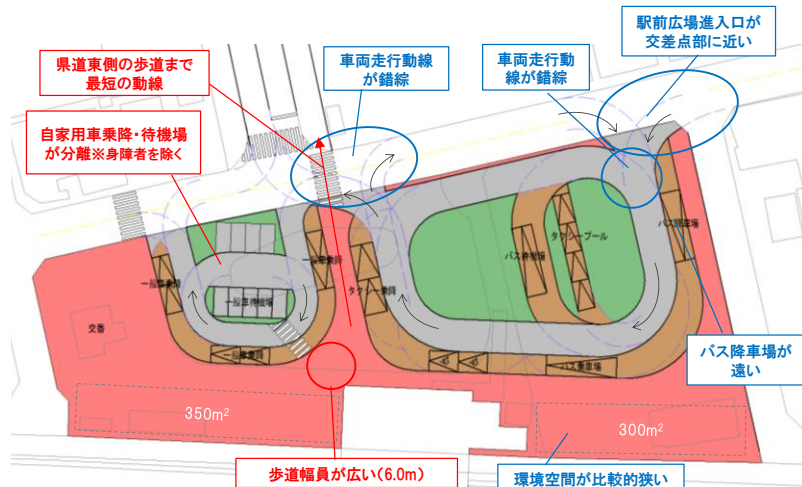
2-3 第3回ワークショップ

県道行田停車場線までの歩行者動線確保のパターンを検討し、①現状の形状活用、②県道東側への動線確保、③県道西側への動線確保、④壺里山公園側への機能集約の4案を提示。

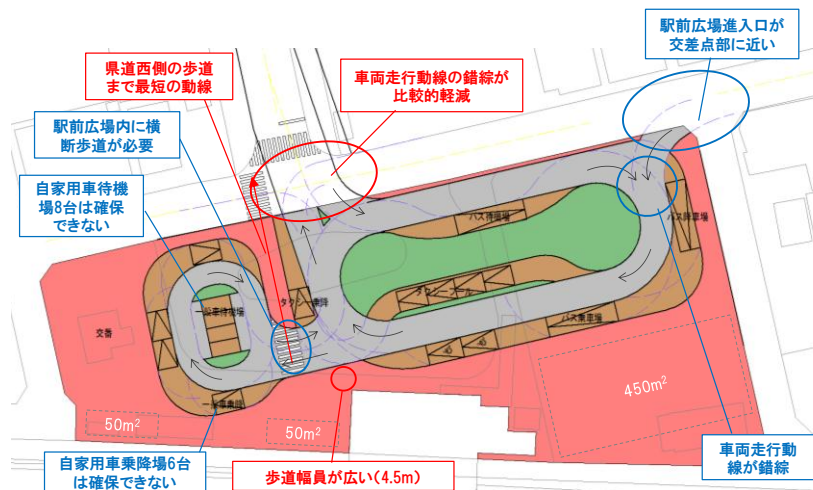
《案①：現状の駅前広場の形状を活用》



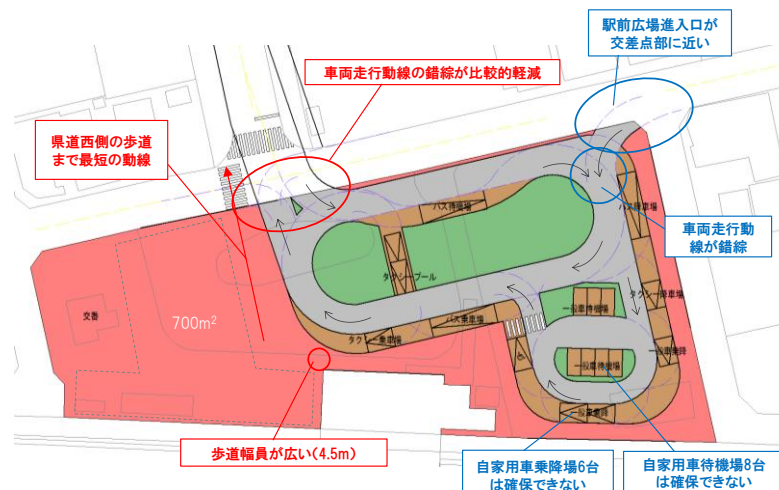
《案②：県道東側の歩道への最短歩行動線を確保》



《案③：県道西側の歩道への最短歩行動線を確保》



《案④：壺里山公園側に全ての機能を収める》



2. 各回のワークショップの概要

2-3 第3回ワークショップ

◆第3回ワークショップ（参加人数：35名）

《第3回ワークショップの目的》

駅前広場の配置計画を検討し、駅前広場整備イメージ(案)を作成する

テーマ:JR行田駅前広場周辺に必要な機能の配置を考えよう!

◆交通処理機能に対する意見

A班:デッキ案

(動線としては自家用車待機場が広ければ良い)

- ・駅前広場の整備が目的ではなく、駅前広場周辺の施設整備に合わせた駅前広場の整備を行う
- ・自家用車待機場を多く

B班:デッキ案

(バス・タクシーと自家用車の動線はまとめる)

- ・現状ではバス・タクシーより自家用車のスペースを確保
- ・将来的に自家用車→バススペース等に変更可能な対策を検討できるとよい
- ・鴻巣側に車の待機場を確保

C班:駅東側に車両動線を集約(④案)

- ・エレベーターに自家用車乗降場が近いほうがよい
- ・バス・タクシーより自家用車スペースの確保が重要
- ・駅舎近くにバス・タクシーの乗車場(観光利用客の利便性を考慮)
- ・鴻巣側からの自家用車の流入増加に配慮

D班:駅東側に車両動線を集約(④案)+デッキ案

- ・県道は西側歩道へ接続した方が便利
※ただし東側にもデッキで接続できるとよい
- ・④案はロータリーがコンパクトで良い
(バス、一般車を分離する必要性が低い)

◆環境空間機能に対する意見

A班:市営駐車場の敷地に多機能施設を配置

- ・民地と市有地の入れ替え
(公園を駅前広場と一体化・将来の拡張余地)

B班:駅舎に直結した多機能施設

- ・行政サービス、コミュニティセンター
- ・周辺駐車場を時間貸しできるよう
- ・植栽は管理体制が必要

C班:駅前広場西側に多機能施設を配置

- (交番の移設がベスト)
- ・コンビニ、飲食店、お土産屋、居酒屋
- ・観光案内所、行政サービス、図書館

D班:駅前広場西側を自由に使える空間(広く)

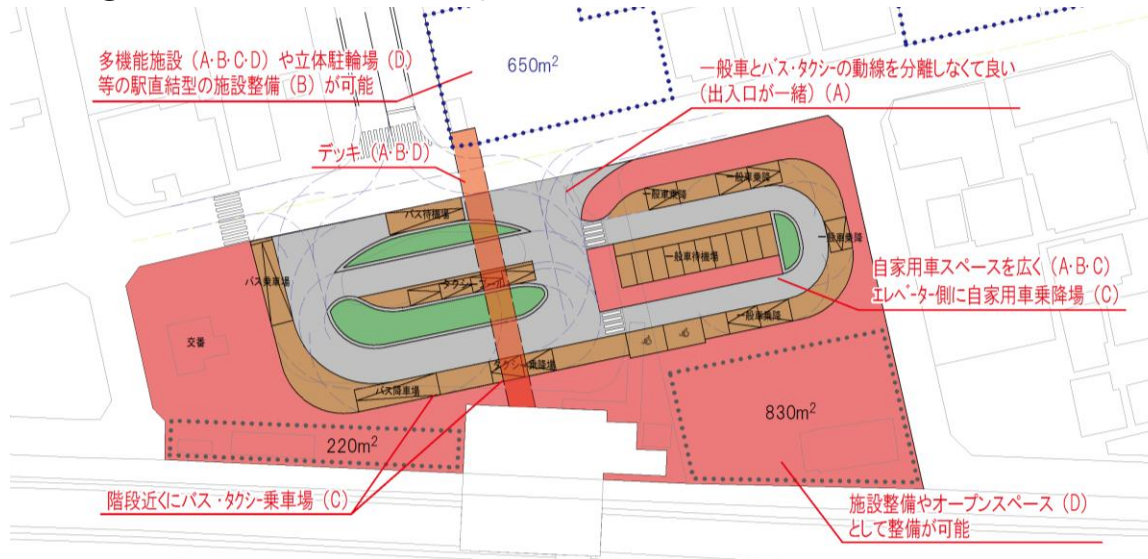
- ・休憩所、ベンチ、喫煙所
- ・暑い時期、雨天時のための屋根
- ・多目的広場
- ・観光案内所
(情報発信機能の充実、休憩場と一体で気軽に利用できる施設)
- ・人が集まる施設(例えば図書館)
- ・子育て支援(駅利用者のための託児所など)
- ・駐輪場
(駅向かいのATMのある市有地に有料の立体Pを立てて、デッキで駅に直結)

2. 各回のワークショップの概要

2-4 第4回ワークショップ

第3回ワークショップでの各班の意見を踏まえ、①デッキ案、②片寄せ案 の2案を提示。

《案①：デッキ案（県道東側に接続）》



《案②：片寄せ案（県道西側に接続）》



2. 各回のワークショップの概要

2-4 第4回ワークショップ

◆第4回ワークショップ（参加人数：32名）

《第4回ワークショップの目的》

駅前広場周辺整備方針案(2案)について意見交換し、市民提案としてまとめる

テーマ:①デッキ案 ②片寄せ案それぞれについてご意見をお聞かせ下さい！

《各班の主な意見》

A班:①デッキ案(現況駐車場用地に複合施設の整備、市有地の集約による機能の集積)

- ・点在する市有地を駅前広場東側の民地及び岩崎電気前に集約し、複合施設や公園、立体駐輪場等を整備する
- ・駅前広場前の現況駐車場用地は、「都市拠点施設」として整備する ※必ず整備して欲しい
- ・現況駐車場用地と駐輪場の間にある飲食店等は「都市拠点施設」内に移設する

B班:①デッキ案(現況駐車場用地に複合施設の整備、Y字デッキによる県道歩道両側への動線確保)

- ・デッキはY字として、県道の歩道両側へ繋げ、東側の現況駐車場用地は複合施設として整備する
- ・複合施設にはコミュニティセンターや行政サービス、観光案内所、商業施設(コンビニ・ファミレス等)を誘導する
- ・駅前広場内はオープンスペースもしくは立体駐輪場として整備
- ・公園は現ゲートボール場に移設

C班:②片寄せ+デッキ案(交番を移転し、駅前広場西側に複合施設を整備 ※県道東側にはデッキがあると良い)

- ・駅前広場西側に複合施設を整備し、機能を集約
(居酒屋、土産屋、コンビニ、行政サービス、自治会館、図書館、観光案内所)
- ・駅前広場前面の市道の16m拡幅に合わせた駐輪場の再整備、公園は現ゲートボール場に移設
- ・県道東側歩道へデッキの整備 ※ただし、財政面を考慮すること

D班:②片寄せ案(交番を移転し、駅前広場西側及び現況駐車場用地に複合施設を整備)

- ・駅前広場西側に複合施設を整備(図書館、自治会館、託児所等)
- ・駅前広場前の現況駐車場用地に観光案内所を整備し、物産館や休憩施設等と一体的に整備することで来訪者を誘導する仕組みを作る
- ・現況駐輪場を公園とし、遊歩道を整備する